

重大災害速報

令和7年6月13日

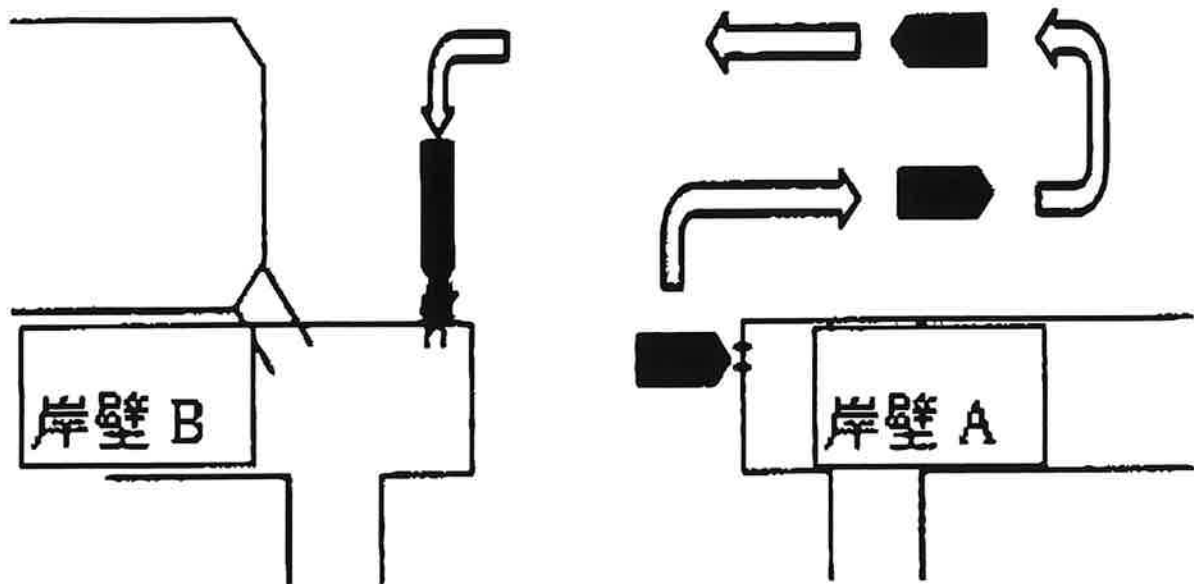
令和7年－1

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

港 名	名古屋港		業 種	港湾荷役業
事業場の名称				労働者数 1,032人
事業場の所在地	名古屋市港区			
雇用形態	常 用			
被災労働者氏名	性別	年齢	職 種	被災の程度
作業員①	男	50歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷・右肩関節挫傷 ・右肘関節部挫傷・右胸部挫傷 (休業見込み2週間)
作業員②	男	49歳	作業員	頸椎捻挫・右膝打撲 (休業見込み2週間)
作業員③	男	52歳	作業員	頸部挫傷・腰背部挫傷 (休業見込み10日間)
作業員④	男	50歳	作業員	腰部挫傷 (休業見込み6/2から2週間)
作業員⑤	男	50歳	作業員	第4・5腰椎間板ヘルニア (休業見込み4～6週間)
作業員⑥	男	40歳	作業員	6/3より出社(休業2日) 異常なし
作業員⑦	男	42歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷 (休業見込み1週間)
作業員⑧	男	37歳	作業員	腰背部挫傷 (休業見込み1週間)
作業員⑨	男	32歳	作業員	頸部頸椎挫傷・左肩関節挫傷・解消 性頸部症候群 (休業見込み2週間)
作業員⑩	男	35歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷 (休業見込み1週間)
作業員⑪	男	36歳	作業員	左手部挫傷・頸椎頸部挫傷・外傷性 頸部症候群・右肋骨骨折 (休業見込み3週間)
作業員⑫	男	35歳	作業員	頸椎捻挫・右肩挫傷・前胸部打撲 傷・腰椎捻挫・右手挫傷 (休業見込み4週間)
作業員⑬	男	35歳	作業員	頸椎捻挫 (休業見込み1週間)

作業員⑭	男	39歳	作業員	左肘関節挫傷・左肘関節外傷性二頭筋腱損傷 (休業見込み6/2から1週間)			
作業員⑮	男	20歳	作業員	頸部挫傷・腰部挫傷・両膝挫傷 (休業見込み1週間)			
作業員⑯	男	18歳	作業員	頸椎頸部挫傷・腰椎腰部挫傷・外傷性腰仙椎間板障害 (休業見込み6/2から1週間)			
作業員⑰	男	52歳	作業員	右混合性難聴 (休業見込み6/2から2週間)			
作業員⑱	男	35歳	作業員	6/4より出社(休業3日) 異常なし			
作業員⑲	男	34歳	作業員	仙骨2箇所骨折 (休業3か月)			
作業員⑳	男	22歳	作業員	腰部挫傷 (休業見込み1週間)			
事業場の名称	協力会社・非会員			労働者数	12人		
事業場の所在地	名古屋市						
雇用形態	常 用						
被災労働者氏名	性別	年齢	職 種	被災の程度			
作業員㉑	男	48歳	作業員	6/4より出社(休業3日)			
発生年月日時刻	令和7年5月31日(土) 午前6時45分頃						
発生場所	名古屋港 内航自動車船 接岸岸壁						
発生状況	1 6時30分頃、作業員21名が送迎用ボート(以下「ボート」という。)に乗船し、対岸にある作業現場へ作業応援のため、岸壁Aを出航した。(所要時間は約15分を予定) 2 ボートが出航して間もなく、応援予定でない作業員1名が乗船していることがわかり、引き返す必要があったが、岸壁Aに別の荷役船が着岸していたため、約100m離れた岸壁Bに向かいボートを走らせた。 3 岸壁Bに着岸する際、ボートのエンジンが停止したことから減速ができず、岸壁Bに設置されている梯子(昇降用ステップ階段)にボートが衝突、その衝撃により乗船していた作業員21名が被災した。						
原因	エンジントラブルが主たる原因と思われるが、現在調査中						
参考	送迎用ボートについては1週間前に定期点検終了						
			発信：東海総支部 前田		受付：佐藤		

送迎用ボートの航行路



送迎用ボート

